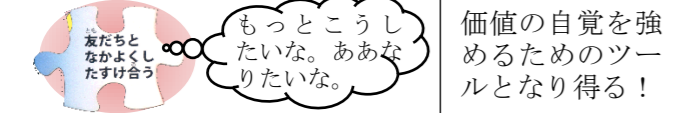


道徳科で「心のパズル」を活用する

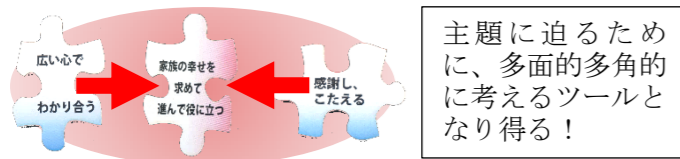
1年生「心のパズル」の一つのピースに着目する!

主題名:ともだちがいてよかった【B 友情、信頼】
【導入】
 T:友達がいてよかったと思ったことはありますか?
 C:遊ぼうと声をかけてくれた。
 C:けがをして保健室まで連れて行ってくれた。
 T:今日は「4つの心」のどの学習かわかりますか?
 C:デージーの心です(Bの視点)
 ※めあての提示 **友達ともっとなかよくなるために大切なことは何だろう?**
【展開】後段
 ※教材を読んで話し合う(省略)
 T:友達ともっと仲よくなるために、大切なことは何だと思いませんか?
 C:友達の気持ちをよく考えることだと思います。
 T:今日の勉強は、心のパズルのどこかわかりますか?
 C:「**友だちとなかよし、たすけ合う**」の心です。
 T:この心のピースに向かってどうしていきたいですか?
 C:もっと友達に優しくしていきたいです。
 C:友達から助けってもらってばかりだから、ぼくも助けたい。



6年生「心のパズル」の他のピースとの繋がりを考える!

主題名:家族のしあわせ【C 家族愛、家庭生活の充実】
【導入】
 T:「家族の一員」からイメージするのはどんなことですか?
 C:役に立つ C:大切な人 C:メンバー
 T:今日は「4つの心」のどの学習かわかりますか?
 C:ララの心です(Cの視点の方向性を示す)
 T:心のパズルのどこにあたるかわかりますか?
 C:「**家族の幸せを求めて進んで役に立つ**」のピースだと思います。
 ※めあての提示 **家族の一員として大切なことは何だろう?**
【展開】後段
 ※教材を読んで話し合う(省略)
 T:「家族の一員として大切なこと」は何だと思いませんか?
 C:お互いのことを考える C:思いやる気持ち
 T:あなたは今までどうでしたか。あなたなら家族と一緒にどう過ごしていきたいですか?
 C:家族を大事に思うことが大切だと思った。
 C:互いの気持ちを考えて生活することができてなかった。
 T:互いの気持ちを考えて生活することができなかつたと答えた人は、他にどんな心(ピース)が必要だと思いますか?
 C:私は、少し反発するときがあるので、「広い心でわかり合う心」をもちたいです。
 C:ぼくは「感謝しこたえる」の心を意識したいです。



「4つの心」を取り入れた学級目標で学級経営の一年間のストーリーに活かす!

学級目標は、学級全体がそこを目指していく中で、集団として高め合い、一人一人の力を伸ばすために存在している。そこには担任の学級経営に対する思いが凝縮されており、子供自身が1年間、実践と反省と改善を繰り返すことができる学級目標にする必要がある。そこで「4つの心」を取り入れた学級目標の作り方の例を、学級活動内容(3)で紹介する。

つかむ 5年生になって「**楽しみなこと**」や「**不安なこと**」について話し合う
 ○アンケート結果や家庭訪問で聞いた保護者の願い等を提示し、話し合う。(板書①)
さぐる・見つける よりよい学級生活について話し合い、学級目標を決める。
 ○担任が道徳アンケート結果を基に「4つの心」から「目指す5年生像(学級目標)」を提示する。(板書②)
 ○そもそも学級目標は、なぜ必要なのか意見を出し合う(板書③)。
 ※めあての提示 **5年生の学級目標に近づくための自分の目標を決めよう**
 ○5年生の「よさ」や「わかっているけど、行動できていないこと」を具体的に説明する。(板書④)。
 ○よさをさらに伸ばすために、またできていないことを解決するための方法について話し合う。(板書⑤)
 ○担任が示した学級目標(板書②)に、みんなでアイデアを出し合って、子供たちが言いやすい言葉に変える。(板書⑥)
 →「**ネバーギブアップ! 優しさいっぱい みんなのために動き感動あふれる5年生**」

5年生の学級目標に近づくための自分の目標を決めよう

つかむ	さぐる	見つける	決める
強い心で努力する子供 ネバーギブアップ	優しい心で人触れ合う子供 やさしさいっぱい	みんなのために動く子供 みんなのために動き	命を輝かせる子供 感動あふれる5年生
楽しみなこと ・宿泊教室がある ・家庭科が始まる ・運動会の表現	みんなの願い ・勉強がんばりたい ・下級生のお手本に ・楽しい学級にしたい	なぜ学級目標が必要か? ・みんなの目指す姿がわかる ・一人一人が成長するため	よりよい学級にするために ・困っている人がいたら優しく声をかける ・相手の立場に立って考えるようにする
心配なこと ・勉強が難しくなる ・下級生の手本にならなくては...	保護者の願い ・授業をしっかり聞いてほしい ・楽しく学級で過ごしてほしい ・友達と仲良くしてほしい	みんなのよさ ・相手を思いやり親切にすること ・わかっているけど、行動できないこと ・目標に向かって努力すること ・みんなのために行動すること	自分の目標(めあて) 【生活面】 ○▲委員では、工夫して活動に取り組む ○●係では、みんなのために活動を考える【学習面】 ○毎日計算の学習を1ページする ○自学を一日40分がんばる

熊本市立銭塘小学校

より高い目標に向かってやりぬく
長所を伸ばし短所をあらためる
誠実に明るい心で
自分を育てる心

友達を信じて友情を深め異性を理解する
時と場に合ったれいぎ
人間としての生きる喜びを感じる
世界中の人たちといっしょに
広い心でわかり合う
感謝し、こたえる
社会をつくる心

しっかり考えて責任ある行動を
生活を見つめ直し、節度・節制を
相手の立場に立って親切に
進んで役に立つ
かけがえない生命
働く喜びをもちみんなのために役立つ
デージー
ともに生きる心

公平・公正な態度で
家族の幸せを求めて
進んで役に立つ
かけがえない生命
感動する心や畏敬の念をもつ
マリー
命を感じる心

国や郷土を愛する
自然環境を大切に
役割を自覚し、よりよい学級や学校をつくる
進んで法やきまりを守り、義務を果たす
やくわり
やくわり
やくわり

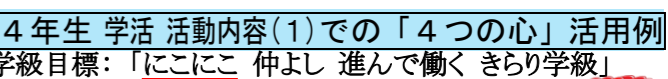
銭塘小
心のパズル
高学年用

since2018

学級活動で「心のパズル」を活用する

2年生活動内容(2)での「心のパズル」の活用例

学級目標:「やる気まんまん なかよく みんなのために笑顔かがやく 2年1組」
 題材名「『忘れ物0作戦』について考えよう」
つかむ 学級の「忘れ物」の実態について知る
 ○忘れ物グラフをもとに現状について考える。
さぐる・見つける よりよい準備の仕方について話し合う
 ○忘れ物をする理由について考える。
 ○そもそもなぜ忘れ物したらいけないのか意見を出し合い、めあてについて知る。
 ※めあての提示 **忘れ物をせず、学校生活を過ごせるようになるよう**
 ※「学級目標『やる気まんまん』に近づくために」という意識をもたせる。また関連するピース「よく考えて節度ある生活を」を示す。
決める 忘れ物をしないための自分のめあて(行動目標)を決める
 ○時間・回数・場所等を入れ、具体的なめあてにする。
振り返る 「めあて(行動目標)」の実践(1週間程度)を振り返る
 T:「忘れ物0作戦」でどんなピースの心が伸びましたか?
 C:皆に声をかけてもらったから「周りの人への感謝」の心が伸びました。C:きまりを守る大切さがわかりました。



4年生学活 活動内容(1)での「4つの心」活用例

学級目標:「**にこにこ** 仲よし 進んで働く きらり学級」
 議題: **きらり集会**の内容を決めよう
 ○提案理由や条件等を確認する場面
 C:きらり集会をすると、みんなが『にこにこ』になり、学級目標に近づくことができると思って提案しました。
 T:今回は、学級目標の「にこにこ」を大切に話し合いたいですが、「にこにこ」ってどんな顔かな?
 ※笑顔になっている子供たちの写真を提示する。
 C:こんな笑顔(表情をつくる)です。楽しいことが続くときに、「にこにこ」になります。
 ※提案理由から「にこにこ」を焦点化し、どんな「笑顔」なのかイメージを共有化する。関連するピース「**誠実に明るい心で**」を示す。
 ※めあての提示 **提案理由を考えながら意見を発表し合おう**
出し合う 提案理由や話し合いのめあてに沿って、自分の考えを発表する
 C:「宝探し」がいいと思います。宝を見つけたとき、「にこにこ」になれると思うからです。(他多数の意見が出し合われる)
比べ合う 共有化した提案理由を根拠に意見を比べ合う
 C:ぼくは「友達ビンゴ」に賛成です。家でビンゴ大会をしたときに、みんな笑顔で、盛り上がったからです。
 C:「4の1バスケ」に賛成です。みんなでしたとき、みんなが「にこにこ」になっていたからです。
決める(まとめる) 決めるための道筋を子供と共通理解しておく
 ※最も賛成意見が多かった「友達ビンゴ」に決定
振り返る 「きらり集会」の実践を振り返る
 T:きらり集会でどんなピースの心が伸びましたか?
 C:集会で自分の役割を果たせたので、「役割を自覚し、よりよい学級や学校をつくる」心が伸びました。
 C:友達と力を合わせたので「友達を信じて友情を深め…」の心が成長したと思います。



